

桜花の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員諸兄に於かれましては、益々ご清福の段 大慶至極に存じ上げます。

皆様には日頃より当支部運営に際して特段のご高配を賜り、深甚なる敬意を表すと共に、倍旧のご支援を伏してお願ひ申し上げる次第です。

去る二月二十六日は山口県岩国市に於いて「中国地区防衛協会 青年部会 連絡協議会」が盛大に開催され、当県より十名余で参加して来ました。

第十三回全国防衛協会青年部会宮崎大会が十一月一、二日に新田原基地をメイン会場に開催予定をされており、その参加呼び掛けをして来た次第です。

また翌二十七日は海上自衛隊岩国基地研修があり、隣接する米軍海兵隊の物々しい警備の中、US1、US2 救難飛行艇及び掃海ヘリMCH101等の最新鋭装備の数々をつぶさに見学し、搭乗をさせて頂きました。

野田前政権の置き土産で武器輸出三原則の見直しなどが決まりましたが、偶然乍ら岩国から帰宮した直後にインド海軍へUS2を輸出する新聞報道を反聞して、絶妙のタイミングに大いに驚いたところです。

三月七日は基地援護室外皆様方のお力添えで、新田原飛行教導隊のF15タクシーを体験させて頂きましたが、耐Gスーツやサバイバルジャケット、それにヘルメット等の十kgを超える装具と、狭いコックピットでの長時間に亘る緊張感を想像するとき、外見の華やかさとは裏腹に戦闘機パイロットは本当に過酷で割の合わない職業と考えざるをえませんでした。

そして一機の飛行機を飛ばすために、何と多くの隊員が携わっているかも思い知らされ、以降ハイビスカスGC上空に飛来するF15やF4、T4等の戦闘機にも、知らず知らずに手を合わせて仰ぎ見る毎日です。(笑)

同十日は、私の原隊の第三十二連隊創立記念日が大宮駐屯地で挙行され、戦友達と一年ぶりの再会でしたが、お元氣だった二人の先輩が鬼籍に入られており、ご冥福を祈りつつ「明日は我が身と」互いに旧交を温めて来ました。

また同三十日は三年ぶりに都城駐屯地観桜会が二十度を超える日差しの中、和やかな雰囲気の中で開催され、五名の宮崎支部会員と参加したところだす。

同三十一日は防大生、看護学生、自衛隊生徒等二十名を超える宮崎県出身学生を、宮崎空港ロビー内に於いて「万歳三唱」を以て盛大に見送りました。

以上のように桜の季節が近づくと自衛隊行事が立て込み、身辺がにわか慌ただしくなり、予定の消化に東奔西走する日々が続きます。

そんな中、相変わらずヒステリックな北朝鮮の瀬戸際外交に韓国や米軍は翻弄され、当然米軍基地の在る日本も「対岸の火事」では済まされぬ筈です。

折しも同三十日は「日本維新の会」初の党大会が大阪市内にて開催され、保守路線を鮮明にした党綱領が採択された模様で、新聞に依ればその骨子は「占領憲法を大幅に改正して、国家を蘇生する」と盛り込まれております。

憂国の志士達は口先だけで平和を唱えてもその実現は困難で有る事を既に喝破しており、集団的自衛権等の実効性を早急に確立せねばなりません。

橋下氏曰く「憲法前文の我が国の安全と生存が諸国民の信義と公正を信頼するだけで保持する事は有り得ない」とのご指摘には、誠に共感を覚えます。

ところで、来る十五日は宮崎県防衛協会青年部会総会が都城市の中山荘に於いて開催されますので、宮崎支部の皆様も何卒ご臨席賜れば幸いです。

結びに、祖国の彌栄と皆様のご健勝を衷心よりご祈念申し上げます。

平成 二十五年 四月 一日

